製品名: MTAP ウサギモノクローナル抗体
カタログ番号: AMRe86293
研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20℃で保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から 12 ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100,IP 1:10-1:100
分子量	Calculated MW:31 kDa; Observed MW:31 kDa

抗原情報

遺伝子名	MTAP
別名	BDMF; MSAP; DMSFH; LGMBF; DMSMFH; c86fus; HEL-249
遺伝子 ID	4507
SwissProt ID	Q13126
免疫原	ヒト MTAP の合成ペプチド

背景

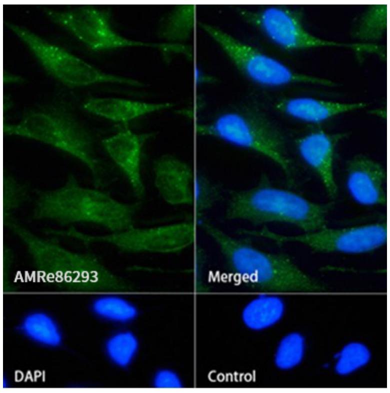
この遺伝子は、ポリアミン代謝において主要な役割を果たす酵素をコードしており、アデニンとメチオニンの両方の回収に重要で

す。多くの癌において、この遺伝子と腫瘍抑制遺伝子 p16 が共欠失しているため、この酵素は欠損しています。この遺伝子には複数の選択的スプライシング転写バリアントが報告されていますが、それらの全長の性質は未だ不明です。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



MTAP ウサギモノクローナル抗体を使用して MTAP を標識した HeLa 細胞の免疫蛍光分析。